

宅に建て替えていきました。

高層マンションをどんどん建てて「ヴォアザン計画」を現実化しているのは日本とアジアです。「快適な歩行者空間」と言われている空間は、クルマのための空間ですから、歩くと退屈です。総合設計制度では「高層マンションの足元に誰でも入れる公開空地を作りたい」としてはいますが、実態は、お店もベンチもなく、誰も入らない非公開空地になっています。

再開発する前の街は、横丁や家や路地があつて、防災的には良くないので「つぶしてしまえ」ということになりませんが、そのあとに高層ビルを建ててしまつと、歩きまわれる界限性が失われて、街で遊んでいた人々は行き場を無くしてしまいます。これが、日本の再開発によって進んでいる均質化です。

建物の数が、より多く、より大きく、より新しい街は、住みよいか？

このような再開発がなぜ止まらないのか。それは、私たちが都市の魅力をどのように測ってきたかということと関係があります。

東洋経済新報社が発表する全国813市区の「住みよさランキング」で、6年連続第1位は千葉県印西市。郊外のベッドタウンが上位に並んでいます。

なぜそうなるかというと、都市の魅力を安心・利便・快適・富裕・住居水準充実を指標に評価しているからです。

安心な街は、人口あたりの病院病床数や65歳以上人口あたりの介護老人施設定員数。便利な街は、人口あたりの大型小売店舗面積。快適な街は、人口あたりの都市公園面積や世帯あたりの新設住宅着工数。住居水準が充実している街は、持ち家世帯比率。つまり、人口あたりの建物や施設の数、より多く、より大きく、より新しい街が、住みよいかと定義しています。

この発想を約1haの敷地の中で実現しようとする、上にタワーマンション、下にショッピングモールと公開空地のある高層ビルになる。郊外のニュータウンをつくる発想と都心の再開発の発想が同じだとわかります。

関係性と身体性で都市のアクティビティ(行動)を測る

都市は、どう評価されているか。リチャードフロリダは「クリエイティブな人々が求めるのは、質の高い快適さや経験であり、あらゆる多様性に寛容で、そして何よりもクリエイティブな人間というアイデンティティが発揮できる機会なのだ」と書いています。

ヤン・ゲールは「街は、人々が歩き、立ち止まり、座り、眺め、聞き、話すのに適した条件を備えていなければならぬ。これらの基本的活動は、人間の感覚器官や運動器官と密接に結びついている」「街づくりは、どういうアクティビティ(行動)が発生するかが大事で、そ

のために、どういう空間が必要であり、どういう建築が必要であるかを考えてほしい」と言っています。

「都市に生きる」とは、①不特定多数の他者との関係性の中にあること。②身体で経験し、五感を通して都市を知覚すること。そこで、関係性と身体性で都市のアクティビティを測ってみようと考えました。

関係性の指標としては、

① **共同体に帰属していること**(お寺や神社にお参りをした/地域のボランティアやチャリティに参加した/馴染みの飲み屋で店主や常連客と盛り上がった/買い物途中で店の人や他の客と会話を楽しんだ)

② **匿名性があること**(カフェやバーで一人で自分だけの時間を楽しんだ/平日の昼間から外で酒を飲んだ/不倫のデートをした/夜の盛り場でハメを外して遊んだ)

③ **ロマンスがあること**(デートをした/ナンパした/された/路上でキスした/素敵な異性に見とれた)

④ **機会があること**(刺激的で面白い人達が集まるイベント、パーティに参加した/ためになるイベントやセミナー・市民講座に参加した/コンサート、クラブ、演劇、美術館などのイベントで興奮・感動した/友人・知人のネットワークで仕事を紹介された/紹介した)

身体性の指標としては、

① **豊かな食文化があること**(庶民的な店でうまい料理やお酒を楽しんだ/

地元でとれる食材を使った料理を食べた/地酒、地ビールなど地元で作られる酒を飲んだ/ミシュランや食ペログの評価の高いレストランで食事した)

② **街を感じられること**(街の風景をゆつくり眺めた/公園や路上で演奏やパフォーマンスしている人を見た/活気ある街の喧騒を心地よく感じた/商店街や飲食店から美味しそうな匂いが漂ってきた)

③ **自然を感じられること**(木陰で心地よい風を感じた/公園や水辺で緑や水に直接ふれた/美しい青空や朝焼け・夕焼けを見た/空気が美味しくて深呼吸した)

④ **歩けること**(通りで遊ぶ子供たちの声を聞いた/外で思い切り身体を動かして汗をかいた/家族と手を繋いで歩いた/遠回り、寄り道していつもは歩かない道を歩いた)

センシユアス・シティランキングで静岡市は12位

以上の8指標32項目の指標を提示して「あなたが住んでいる地域で過去1年間に、どの程度の頻度で経験しましたか?」とアンケートをとりました。その頻度によって得点をつけて、ランキングしたのが、センシユアス・シティ(官能都市)ランキングです。調査対象は、政令指定都市と県庁所在地134都市。東京・横浜・大阪は区ごとに分けました。